



本号の主な内容

- 2面 社会資本整備総合交付金について
国土交通省都市・地域整備局 公園緑地・景観課 辻本課長補佐
- 3面 【学会の目・眼・芽】第 12 回 深町加津枝氏
【緑滴】高齢化社会の問題と解決策 鈴木一彦
- 4面 九州地方整備局との「第 28 回緑化懇談会」開催 九州総支部
委員会の活動（総務、事業、技術、国際委員会）

東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー2010 日造協・造園連が共催イベント



ステージ前には多くの人が集まった



ガーデンショーのゲートより

東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー2010が4月17日から4月25日まで、東京都立川市の国営昭和記念公園・みどりの文化ゾーンで開かれ、4月18日には、当協会と（社）日本造園組合連合会の共催で、「庭師が創る小さな庭」と題したイベントを会場内のステージで実施した。イベントは、「国際技能オリンピック金メダリストが魅せる技」をサブタイトルに、2007年のユニバーサル技能五輪国際大会造園部門金メダリストである小杉造園（株）の早乙女彰将さん、渡邊久美奈さん、アガステージで実際に、1時間という限られた時間と小さな空間で、伝統的な日本庭園を基に受け継がれてきた匠の技を活かした都市の小庭を提案するもの。当日は、当協会の加勢充晴氏、松本朗氏が司会を務め、早乙女さん、渡邊さんが作業する中、現代の名工・宇田川辰彦氏が解説。ステージ前には多くの見学者が集まり、熱心に庭が出来上がる様子を見ながら説明に耳を傾けた。今回のガーデンショーは、世界最高峰のフラワーショーといわれるイギリスの「チェルシーフラワーショー」の日本版を目指して、今年初めて開催。会場内は、ショーガーデン、シテイガーデン、スモールガーデンなど、様々なスケールの個性あふれるガーデンが楽しめる「ガーデン・ングワールド」をはじめ、ハンギングバスケットやコンテナガーデンなども紹介され、当協会の会員も多数出展し、東京ドーム2個分の会場を花と緑で彩った。

樹林

「なんて素敵なんだろう」と公園を見て初めて感激したのは、23年前のニューヨーク、バッテリーパークのことでした。自由の女神をハドソン川越しに見る細長いリバーサイド公園、それまでは公園をあまり意識する機会もなく、日常的に利用することもなかったのに、当時の私には軽いカルチャーショックを与えてくれた公園でした。

その公園には、「ニューヨーク風、大人のステキな時間の過ごし方」の提案があり、そのベンチに座って片手にコーヒ、本を開けたりしたら「私、すごく大人のいい女に見えるかも……?」と大きな錯覚とちよとした勘違いを与えてくれる自然空間でした。空と川と緑以外は全て黒で表現統一、ベンチ、フェンス、灰皿、照明、ゴミカゴ、それに伴うゴミ袋、看板POP、公園内見えるモノ全て洗練されたデザインで統一。それらが公園のコンセプトを発信、さすがニューヨーク

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

「女性の行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

女性が行きたい公園

株式会社パーティ・フリー代表取締役社長

石井みな子



「生活者視点企画」が、弊社パーティ・フリーのコンセプトです。世界、国内の女性生活者の本音と夢を集約、「生活者の立場から企画提案、女性の感性の重要さを訴求、ビジネス、情報提供、広報戦略戦術、地方活性化」などの具現化までを行っております。

つまり現状のマーケット拡大が主なる目的となりますので、今回の場合「公園を日常的に使用しない」存在を

意識したことが無い。都会派女性生活者」にターゲットを絞り、彼女達が「行きたくなる公園の夢アイデア情報」と致しました。

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

な空間で、伝統的な日本庭園を基に受け継がれてきた匠の技を活かした都市の小庭を提案するもの。当日は、当協会の加勢充晴氏、松本朗氏が司会を務め、早乙女さん、渡邊さんが作業する中、現代の名工・宇田川辰彦氏が解説。ステージ前には多くの見学者が集まり、熱心に庭が出来上がる様子を見ながら説明に耳を傾けた。今回のガーデンショーは、世界最高峰のフラワーショーといわれるイギリスの「チェルシーフラワーショー」の日本版を目指して、今年初めて開催。会場内は、ショーガーデン、シテイガーデン、スモールガーデンなど、様々なスケールの個性あふれるガーデンが楽しめる「ガーデン・ングワールド」をはじめ、ハンギングバスケットやコンテナガーデンなども紹介され、当協会の会員も多数出展し、東京ドーム2個分の会場を花と緑で彩った。

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

「女性が行きたい公園とは……」との原稿を書く様にとの指示をいただいたき、真つ先に、一番感激したニューヨークを思い出しました。

平成 22 年 春の叙勲・褒章 北川氏、足尾氏が受章



足尾 春生 氏



北川 博良 氏

平成 22 年春の叙勲・褒章において、日造協会員で、旭日双光章を北川博良氏（75）（株）北川緑地建設代表取締役（福岡県久留米市）が、専門工事業振興功勞として受章。黄綬褒章を足尾春生氏（67）足尾造園土木（株）代表取締役（三重県津市）が、造園工事業の業務精勵の功績で受章した。

土木学会 平成 21 年度技術功勞賞

菊地富夫氏（株）飛鳥が受賞

平成 21 年度土木学会賞において技術功勞賞を日造協会員企業の（株）飛鳥・菊地富夫氏が造園建設業界として初めて受賞した。

この賞は長年にわたり、地道な実務の積み重ねを通じて土木工学の発展に功勞のあった方について授与されるものである。菊地氏は岩盤法面の緑化や木質廃材などを活用したリサイクル緑化など、時代に合った技術的な課題の実用化に携わってきたことが認められた。

お知らせ

平成 22 年度
通常総会
講演会・懇談会

6 月 22 日（火）

14:30~

グランドアーク半蔵門
東京都千代田区隼町 1-1
☎ 03-3288-0111

多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています

過日「感情の地政学」恐怖・屈辱・希望はいかにして世界を作り変えるか」を読む機会がありました。

自信の度合いで3区分

人々の感情は政治、経済、文化まで、その時々で態度で左右され、自信の度合いによって三つの感情集団に分けられる。

一つは自信を表明し続ける希望集団。

二つ目は自己の前進よりも地位が奪われることに感心がいく恐怖集団。

三つ目は過去の栄光と現実の落差に自尊心を失った

屈辱集団とのことです。屈辱や恐れを超えて自信を喚起する組み立てや工夫のことなんですが、我々造園集団はどの位置にあるのでしょうか。

広く連携を進める

右肩上がりの成長時代、そして、一気に市場原理主義と、自分だけ、今だけ、お金だけの世界がなかなか変わりません。

バブルが終わって20年近く、いわゆる成熟時代、連携や供創、協働が切口と解つてもスタートしませんが、内向きの様子見、経費

減つては業界になり得ない。と会員皆必死になって改善を進めているところです。

金、情報とタイミングが大

事ですが、市民と未来のためという公益の心で同志と

学会の日・眼・芽

第12回

2005年、滋賀県大津市の比良山麓で始まった「石組みの川復活プロジェクト」は、石組の川のすばらしさを多くの人に認識してもらい、民・業・学・官の連携で石組工のできる業者を育て、わずかに残された石組の川を保存、修復し、そして復元することを目指しています。

比良山麓周辺にみられる石組みの川は、主に標高400m程の山麓から琵琶湖岸の水田に水を供給するための水路であり、江戸時代にはその姿が確認されています。琵琶湖からの逆水で水を賄えるようになる以前は、この水路が稲作の頼みの綱でした。今でも部分的に残る石組みの川のまわりは、人工物でありながら、自然の水辺と同様の植物に覆われ、しっとりとした雰囲気を作り出しています。石組みの川を流れる水音は、その急傾斜の勢いにもかかわらず、とても優しく山の緑に響きます。

このようなプロジェクトが始まったきっかけとしては、県内各地の小河川で流路のコンクリート化が進められ、これまで利用されてきた石組みの川が消滅寸前になったことがあげられます。そして、小河川でコンクリート化が進められた背景には、石組みを維持するための集落による管理作業が、農業従事者の減少や高齢化により困難になったことと、石組みの技術者が激減したこと、そして行政施策の中で安価で扱いやすいコンクリートによる小河川の補修・新設が積極的に行われたことなどがあげられます。

減、我慢でしのいでおりますが着実に減退しているということが多いです。

秋田県造園協会も30%以上の減で、現在30数社と

元化が実現出来ました。また、市民との連携により具体的に進めておりますし、市民が求める究極の緑化ソリューション、空間運営（コモンズ）をデザインしつづけております。これ以上

「ローカル造園業」

日造協副会長、(社)むつみ造園土木(株)会長 佐々木吉和

ともに進めて参ります。そのためにも会員にも、市民にも関係者にも見える化が大切と表現力、デザイン力、マーケティング力とめ力にこだわっている

競争）のレッドオーシャン市場から、適性生存や独自のブルーオーシャン市場への転換を計れるよう、次のことを行っており

全大候・通年対応

低価格競争からの転換

①に、積雪地域の理想空間のデザインと運営。即ち

「石組みの川復活プロジェクト」は、まずは県内の環境NGOや造園の専門家が、流速の緩和をはじめ、物理的にも景観的にも、生態系保全の面からも優れた側面を持つことを再評価することから始まり、その後、環境NGOによる働きかけによつて、造園・石材業者、関連NPO、地元組織などが協力する体制が徐々に整ってきました。

実際の現場での作業は、まず水量を抑えるため取水口での別河川への一部放水とせき止めた水のポンプ放流から始まります。石組作業は、石材や庭石を扱っている造園業の技術者が中心となり、基本的な石の扱いを他の参加者に教えながら、石組が壊れている部分を中心に補修していきます。直径1m程の大きな石から20cm程度の小さな石までをていねいに積み上げていく作業には、石の向きを見分ける目や、バックホウの力を借りることも不可欠なため、造園業の

また、会社経営としし間のデザインと運営。即ちでは市場原理主義（低価格オールウェザー・オール

ます。まわりから小石をバケツに拾い集めて埋め込む作業も大切で、一般の参加者たちもそうした持ち場で活躍します。

その他、石組みを崩す原因ともなる川沿いのスギ、ヒノキの太木を何本か伐採するなど、場所ごとの状況にあわせた作業のほか、水路沿いに生えるシヨウジョウバカマなどの植物や、ヤマメなど石組みの川にすむ生き物に関する調査も行われます。そして、今後はメンテナンスをしつつ、県や市（行政）にも働きかけ、さらに他の河川にも広げていくことを目標としています。

最近では、(財)国際湖沼環境委員会の「湖沼環境保全のための統合的流域管理コース研修」における現地研修の場となるなど、これからの環境や資源管理のモデルとしても注目されるようになってい

「石組みの川復活プロジェクト」は、民（住民組織、NPO、NGOなど）、業（造園業者、石材業者など）、学（大学教授、研究者など）そして官（大津市、滋賀県など）がそれぞれの役割分担を行いさらに連携を深めることにより、生業のみならず環境や文化といった観点も含めた地域づくりのあり方を具体的に提案し、実現する力を兼ね備えていくといえるでしょう。

身近な環境の中で長い歴史をかけて蓄積されてきた知恵と技術を、連携しながら新しい形で活かしていくことができる、それがこれからの「造園」と思うのです。

シーズン対応、特に室内と野外との共有空間、ひいては雪国・パワースポット（場）の創出です。

困弱物語プロジェクト

感性に訴える商品開発

③は、時代にあった人々の感性に訴えるような商品開発です。造園はある意味、感性に訴えることを業としてしています。そのような造園文化を背景にもつ我々には、時代に合うタイムリーな商品開発ができるのではないかと考えます。

またそうすることで、これまでの受注生産体制から、工場生産体制に変えることもでき、一層計画的な企業運営ができるのではないのでしょうか。

商品開発の方法としては、シニア、ジュニアが共に

に楽しめる感性に訴える、あるいは感性を利用したゲーム機器の開発を全国の会員がコンペ形式で遊び心を持ちながらやつてみるのも面白いのではないかと思います。

理性から感性、美の時代、即ち造園人の時代です。苦難も考えようでは好機です。前述の感情地政学からも明日への希望を燃やし続け、各地域のリーダーとなりましょう。沈まぬ太陽？陽は又昇る？

皆様の日頃のご厚情に深く感謝し、全国各々の個性あふれる理想郷創りに、会員皆様様のご活躍・健勝を祈念申し上げます。

②には、造園サービスで何が出来るか、おもてなしの取り組みはもろんですが、デフレや人口減、高齢化が進んでいる現実、これらの時代変化ニーズや困つて、弱つてる課題を何とかする解決する今昔

今年には例年より遅い桜が今秋田で満開です。桜の前での身の震える感動は人間の五感に響く生命の素晴らしさだ。

この甘美さはこの世の美

高齢化社会の問題と解決策

かつて金ケ作と呼ばれる農村地域に、1955年に建設計画が発表され1960年に第一次入居が開始された常盤平団地があります。隣接する柏市の光ヶ丘団地に次ぐ、旧日本住宅公団による千葉県内では2番目の大規模な団地建設の造成でした。造成にあたってはオープンスペースの確保に注意が払われ、造成前の多くの樹木が残されました。

団地の周回道路北側には「日本の道百選」に選ばれた桜通りがあり、毎年行われる「常盤平さくらまつり」では2日間に約40万人の花見客が訪れ「日本さくらの会」の「さくらの女王」も参加しています。

常盤平駅から団地を貫いて「新日本街路樹百景」に選ばれたけやき通りが南に真直ぐに延び、敷地内の樹木と共に、緑豊かな環境を作り出



緑 滴

しています。建物も建築家の間では興味深い星型住宅（通称スターハウス）を含めた中層住宅を中心とした約5300戸のマンモス団地です。この団地が、1990年代から建物の老朽化が問題となり、昭和30年代の公団住宅の建替え事業が進められていく中、居住者の高齢化等の問題が進展している事情から建替え反対運動がありました。ストック活用と方向転換がなされた今年、入居50年を迎えようとしています。

誕生して50年の団地ともなると、高齢化率も上昇の一途を辿り現在では約37%に達しています。現在、団地自治会が自治体と協働して様々な

鈴木一彦(株)東松園

また、石組みの裏側には、「ぐり石（こぶしくらいの小さな石）」をつめて石組が壊れないようにする作業もあり

(社)日本造園学会理事、京都大学大学院地球環境学准教授

深町 加津枝

「造園CPD」会員登録受付中

申込締切は平成22年5月26日まで

造園技術者の能力向上と客観的評価の指標となる「造園CPD（継続教育）制度」の会員登録受付が始まりました。

造園技術者であればなたでも入会できますが、日造協会員企業の社員、または日造協が行っている資格（街路樹剪定士・植栽基盤診断士・登録造園基幹技能者）をお持ちの方は、通常の年会費から1000円割り引いた1500円／人で会員登録になります。

① 日造協会員企業に所属している方
メールにてご案内しております。届いていない場合があります。

② 日造協の実施する資格をお持ちの方
日造協ホームページの「入会方法」をご覧ください。

③ ①②以外
造園CPD協議会のホームページよりお申込み下さい。

【活用状況】
すでに国土交通省の各地方整備局をはじめ、都道府県、政令市など、多くの発注機関で総合評価の加算対象になっており、それぞれ必要な単位数が異なるので注意が必要です。

今後ますます活用される事が期待されています。

委員会の活動

総務委員会

広報部会で広報事業のあり方、広報日造協4月号について検討した。

（4月7日水）

企画部会で公益法人改革について検討した。

（4月12日月、4月21日水）

事業委員会

主な議題は、平成21年度の事業報告と支部交流会の報告、22年度の事業計画について。

事業計画の具体的な内容は、①事業企画（造園界のための要望活動）②教育・研修（造園施工管理技士の合格率アップなど）③公益活動（社会貢献しながら実益に結びつく全国造園フェスティバルの実施計画）について意見が交わされた。

（4月23日金）

技術委員会

主な議題は、本部及び各総支部の平成21年度の事業報告と支部交流会の報告、22年度の事業計画について。

（4月7日水）

技術情報共有発表会の実施（近畿総支部）、街路樹データベース、造園おさまり集のトラ

イル発行、造園にふさわしい建設システムの検討、公共樹木剪定マニュアルの作成検討（街路樹剪定士資格の発展的活用）、植栽基盤調査・整備歩掛りのまとめなどについて意見が交わされた。

（4月23日金）



技術委員会の様子

国際委員会

AIPH春季ミーティングがタイのチェンマイで開催され和田委員長が出席した。

会議では国際園芸博覧会規約の改正、博覧会開催予

定の審議とともに造園の事業拡大にとっても重要である都市の緑化推進等に関するGREEN CITY委員会

の活動を活性化することが決められた。

（3月23日火、3月29日月）

North American Japanese Garden Initiative (NAJGI) Consortium Meetings（北アメリカ日本庭園主導者ネットワーク設立準備会）が開催され、伊東伴尾委員、松本朗委員、関根委員、野村技術調査部長が参加した。

北アメリカにおける日本庭園管理の支援ネットワークを実現するため、日米の日本庭園研究者、造園家、日本庭園管理者、造園技術者、造園関係組織によるコンソーシアム設立推進1年目の活動として開かれたものである。



北アメリカ日本庭園主導者ネットワーク設立準備会の様子

日造協賛助会員の紹介 19

（株）インタラクシオン／環境緑化新聞

現社名は1997年（平成9年）、編集制作・出版会社であった（株）思考社と（株）環境緑化新聞社を合併した際に社名変更したもの。造園業界には「環境緑化新聞」の方が通じが良い。この7月には創刊37年となる。この間経営者は3回代わっている。現体制になってから30年、ほぼ1世代となる。業界紙なき業界は本物で

は、環境緑化新聞社と（株）思考社と（株）環境緑化新聞社を合併した際に社名変更したもの。造園業界には「環境緑化新聞」の方が通じが良い。この7月には創刊37年となる。この間経営者は3回代わっている。現体制になってから30年、ほぼ1世代となる。業界紙なき業界は本物で

きに取り組んでいく人たちがいる、希望はあるという思いからである。そうした支援者の愛情で発行が継続されている。造園界だけではなく、環境ビジネス、文化的な話題で紙面を構成している理由も、広い視野と高い理想を忘れない「環境緑化精神」が続くことを願っている。

03-3267-4841
http://www.interaction.co.jp

事務局の動き

【4月】

7（水）総務委員会広報部会「広報日造協」編集会議
造園CPD企画会議
8（木）運営会議
12（月）総務委員会企画部会
13（火）造園CPD協議会総会・推進委員会合同会議
14（水）事業委員会（全国）基幹技能者制度推進協議会分科会
17（土）東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー2010
18（日）東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー2010
21（金）デンソー2010イベント出展（庭師が創る小さな庭）
23（金）技術委員会（全国）第4回みどりの式典
26（月）造園・環境緑化振興会事務局会議
30（金）国際化と緑の博覧会20周年記念式典

7（金）大阪府支部総会
10（月）世界と日本の生物多様性総合評価発表記念シンポジウム
11（火）総務委員会広報部会
13（木）（株）日本公園緑地協会
17（月）子どもの遊び場の安全に関するシンポジウム実行委員会
18（火）監事監査
19（水）全国建設産業教育訓練協議会総会
20（木）（株）日本公園緑地協会
21（金）（株）日本造園学会全国大会
22（土）グリーンウェーブ植栽イベント
23（日）みどりの愛護の集い
24（月）（株）日本造園組合連合会総会
25（火）資格検討会議
26（水）埼玉支部総会
27（木）四国支部総会
31（月）理事会議
運営会議

協会だより
総支部、支部、事務局からの記事を紹介しします

都市緑化・CO₂吸収の取り組み等を紹介九州地方整備局との「緑化懇談会」を開催

九州総支部

九州緑化協議会の「第28回緑化懇談会」が、3月8日（月）、福岡市で開催され、国土交通省九州地方整備局から中島正人建設部長をはじめ、企画部、建設部、河川部、道路部、営繕部の各幹部職員と2国営公園事務所長の14名、九州緑化協議会からは、構成団体の日

造協九州総支部、ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部、植木協会九州ブロック、公園施設業協会九州・沖縄支部の役員等21名が出席した。

冒頭、木上会長が「公共工事の大幅な削減が続く中、今後も低落傾向が続くのではないかと危惧しているが、環境の時代といわれる21世紀こそ、私も緑に関わるものとしてはチャンスと思っている。業界が一体となって経営の健全化、人材育成、技術力の向上に

努力したい」と挨拶。中島建設部長は「九州地方整備局も、緑の保全・創出・活用を図り、より高い、より美しい景観、より良い地域整備を進めていきたい」と述べられた。

懇談会では、九州緑化協議会から、「道路高架下の植生試験結果と実施事例」について、「植栽基盤診断士による植栽地盤の調査診断事例」について、「都心に緑豊かな空間を！『立体都市公園制度』活用アイデア」について、「九州管内



第28回緑化懇談会の様子

6（木）運営会議

31（月）理事会議
運営会議